

2023年度ファクトリー・オフィス CO₂ 排出量を 2010年度比で約 31%削減

日立 Astemo 株式会社(以下、Astemo)は、2030年度にはカーボンニュートラル達成を目標とし、取り組みを推進しています。日立 Astemo の 2023 年度におけるファクトリー・オフィスでの CO₂ 排出量は、太陽光発電の導入などにより、87.1 万トンとなりました。これにより、2021 年 1 月に経営統合した日立オートモティブシステムズ、ケーヒン、ショーワ、日信工業の 4 社における 2010 年度の CO₂ 排出量合計である 125 万 4 千トン から約 31%削減となりました。

Astemo は、再生可能エネルギーの活用や省エネルギーの更なる推進に加え、電動化製品などの事業拡大を通じて環境負荷低減に貢献していきます。

■会社概要

日立 Astemo 株式会社

本社：東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号 新大手町ビル

事業内容：自動車部品および輸送用ならびに産業用機械器具・システムの開発、製造、販売およびサービス

詳しくは、日立 Astemo のウェブサイト(<https://www.hitachiastemo.com/jp/>)をご覧ください。

以上